

教育協力 NGO ネットワーク（JNNE）2022 年度事業報告、2023 年度事業計画

活動分野	事業報告(2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)	事業計画(2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)
情報交換・ネットワーク	<ol style="list-style-type: none"> 1. 団体会員数は 21 団体(1 団体入会)、協力団体会員数は 3 団体。 2. 会員 ML を通じて情報交換を行った。 3. JNNE が編集に協力した広島大学 CICE 発行による『Global Education Monitoring Report 2021/22 サマリー日本語版』のローンチイベントを開催した。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 団体会員の増加を図る。 2. 会員 ML を継続する。 3. GCE、ASPBAE のメンバー団体として情報交換を行い、活動に協力する。 4. 広島大学 CICE 発行による『Global Education Monitoring Report 2023/24 サマリー日本語版』の編集に協力する。
調査研究	なし	1. なし
能力強化	<ol style="list-style-type: none"> 1. 緊急下の教育勉強会を 2 回開催した（ECW 助成事業、WVJ が主導）。 2. 昨年時に開発した緊急時の教育の最低基準（INEEMS）のオンライン研修のモジュールに基づき、緊急時の教育の最低基準（INEEMS）のトレーナー養成研修を 1 回、オンライン研修を 3 回実施したほか、教育クラスター・ECW のファンディングプロセスに関する研修を 1 回実施した（ECW 助成事業、SVA が主導）。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 緊急時の教育の最低基準（INEEMS）のオンライン研修を 3 回実施する（ECW 助成事業、SVA が主導）。また第三版を普及するために、ハンドブックの印刷（JPF 助成）、説明会を実施する。 2. ECW のファンドにアクセスする必要要件である Micro assessment、PSEA についての研修を 1 回実施する（ECW 助成事業、SVA が主導）
政策提言・キャンペーン	<ol style="list-style-type: none"> 1. DEAR が事務局となって SDG4 教育キャンペーンを 4 月から 9 月に実施した。政党アンケート結果を受けてのオンライン投票には、全国から 3,379 名の子ども・ユース・市民が参加し、日本の教育と教育援助に関する多くの提言が寄せられた。子ども・ユース代表が与野党 11 名の国会議員ならびに財務・外務・文科省の高官と面談し、提言活動を行った（ECW 助成事業）。 2. 「SDGs 市民社会ネットワーク」に参加し、教育ユニットの世話人を務めた。来年 12 月までに改定される日本政府の SDGs 実施指針の SDG4 に関する提言書作成を行った。 3. UNESCO 主催第 7 回国際成人教育会議（CONFINTEA VII）に向けて、成果文書案へのインプット、文科省に対して会議の成果文書に関する提言を行った。6 月にモロッコ・マラケシュで開催された本会合 	<ol style="list-style-type: none"> 1. SCJ が事務局となって SDG4 教育キャンペーンを 4 月～6 月に実施する。G7 サミットでモザイクアートの発表と共に記者会見を行う（ECW 助成事業）。 2. 2023 年度に改訂予定の日本の新国際教育協力政策へのインプット、提言を行う。 3. GPE および ECW への拠出増額、G7 サミ

	<p>に JNNE より政府代表メンバーに入り参加した。DEAR が 8 月、10 月に行った報告会に協力した。12 月に JNNE 主催で JNNE 会員団体、JICA、コンサルタントを対象に勉強会を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. ECW のニューズレター日本語版を 12 回関係者に配信した (ECW 助成事業、SCJ・プラン主導)。 5. ホームページで SDG4 関連文書の情報提供を行った。 6. 緊急時の教育、ECW、学校保護宣言について、ブリーフィング E ニュースの発行 (5 回)、イベント・報告会の開催 (9 月、10 月、2 月、3 月) し、関連資料の作成・翻訳、ロビイングなどの啓発・提言活動を行った (ECW 助成事業 SCJ, WVJ が主導) 7. Global Campaign for Education の総会 (ヨハネスブルグ) に 2 名参加した 1 名は GCE が旅費を負担。また G7 教育作業部会に参加した。 8. G7 市民社会コアリションに参加し、C7 の「人道支援と紛争」作業部会に関与し、紛争下における教育の優先度を高めるよう提案した。 9. JICA、コンサルタントとともに「教育協力ウィーク」を共催した。オープニングセッションで JNNE の提言を発表した。 10. 1 月に国会議員 2 名を対象に ECW・GPE の事業対象地 (エチオピア) の訪問を行った。 11. 3 月に ECW の事務局長の来日にあわせて協働して議員・政府等のロビイングを行った。 12. 文科省を招いて 12 月に Transforming Education Summit の報告会を行った。 	<p>ット、学校保護宣言、第 7 回国際成人教育会議フォローアップについての政策提言を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. 「SDG 市民社会ネットワーク」に参加し、教育ユニットの世話人 (国際課題担当) を務める。 5. 緊急時の教育、ECW についての関連資料の翻訳、イベントの開催、ロビイング、議員の海外視察、日本政府への申請のためのコンサルタント業務などを行う (ECW 助成事業、WVJ, SCJ, SVA が主導)。 6. JICA、コンサルタントとともに「教育協力ウィーク」を共催する。サイドイベントでセッションを開催予定。 7. 9.9 教育を攻撃から守る国際ディの機会に学校保護宣言に関するイベントを行う。 8. HLPF で教育と紛争のセッションを国連日本代表部と共催予定。 9. 国連総会で開かれる SDGs サミットに対応する。
--	---	---

2023 年度 事業実施スケジュール

2022 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	2023 年 1 月	2 月	3 月
<p>■SDG4 教育キャンペーン（6月まで）</p>	<p>■総会 ■INEEMS 研修</p>		<p>■INEEMS 第三版ハンドブック作成</p>	<p>■議員海外視察</p>	<p>■INEEMS 研修 ■教育協力ウィーク（9/7-9） ■9.9 学校保護宣言イベント</p>		<p>■ECW 事務局長イベント</p>		<p>■国際教育協力協議会（外務省）</p>		<p>■INEEMS 研修</p>
	<p>■G7 サミット（広島）（5/19-21） ■第 7 回国際成人教育会議フォローアップ会合（5/30）</p>		<p>■国連 HLPF（7/10-20）</p>		<p>■国連総会（SDGs サミット）</p>			<p>■グローバル難民フォーラム（ジュネーブ）</p>			